

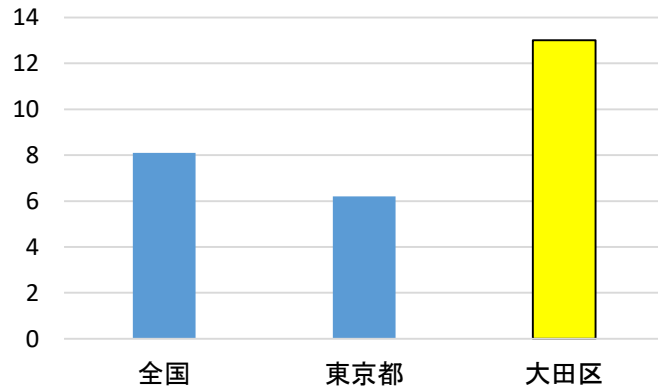
「東京都大田区基本計画」に おける事業実績について

大田区産業経済部
令和5年1月30日

大田区の産業

- 区内の全事業所数は28,377所であり、うち製造業の事業所数は4,229所(都内最多)
- 全全事業所に占める製造業の割合は大田区13%、全国8.1%、東京都6.2%となっており、国や東京都と比較しても高く「ものづくりのまち」として製造業の集積を維持している。
- 全産業における製造業の売上金額及び付加価値額が高く、稼ぎ頭として機能している。

全事業所に占める製造業の割合



全産業における製造業の売上金額及び付加価値額

平成28年経済センサスより

企業産業大分類	売上金額(百万円)	付加価値額(百万円)
A~B 農林漁業	988	442
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0
D 建設業	425,793	91,177
E 製造業	4,328,929	893,323
F 電気・ガス・熱供給・水道業	4,591	1,063
G 情報通信業	236,516	78,693
H 運輸業, 郵便業	551,736	218,664
I 卸売業, 小売業	6,054,031	458,575
J 金融業, 保険業	122,283	43,107
K 不動産業, 物品賃貸業	190,372	60,021
L 学術研究, 専門・技術サービス業	58,051	24,508
M 宿泊業, 飲食サービス業	261,525	103,368
N 生活関連サービス業, 娯楽業	302,879	48,361
O 教育, 学習支援業	143,365	62,722
P 医療, 福祉	157,432	83,040
Q 複合サービス事業	277	92
R サービス業	374,473	121,081
合計(全産業)	13,213,242	2,288,236

東京都大田区基本計画

- 基本計画の促進区域を大田区全域と定めている。
- 地域経済牽引事業の促進による経済的効果に関する目標
 - (1)付加価値創出額:912百万円
 - (2)KPI
 - 地域経済牽引事業の平均付加価値額増加額:125.77百万円
 - 地域経済牽引事業の承認事業件数:5件
- 実績:地域経済牽引事業の承認事業件数0件

■地域の特性及びその活用戦略

- ①機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野
- ②東京国際空港(羽田空港)及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野
- ③東京国際空港(羽田空港)及びその周辺跡地のインフラを活用したクールジャパン発信機能関連産業(文化産業事業)分野

■地域経済牽引事業の促進による経済的効果に関する目標と実績

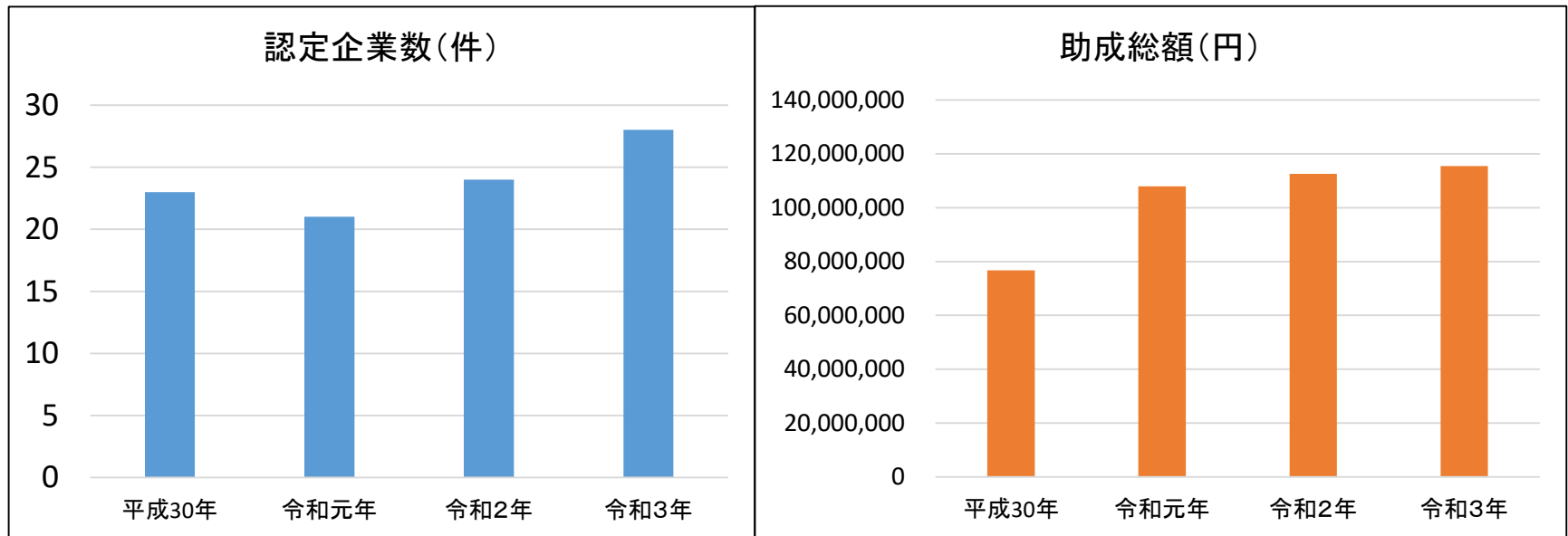
	目標値(H30~R4)	実績(H30~R4)
付加価値創出額	912百万円	地域経済牽引事業の 承認事業件数:0件
地域経済牽引事業の平均付加価値額増加額	125.77百万円	
地域経済牽引事業の承認事業件数	5件	

実績における分析(企業からの意見含む)

- (1)コロナ禍の影響により、企業による目標値の算出根拠の提示が非常に困難。
- (2)事業申請にあたり要件である「付加価値創出額」及び「経済的効果」が非常に高い設定であるため、事業者が達成困難であると判断するケースがほとんどである。
- (3)申請手続き等の負担に対して、メリットが感じられない。

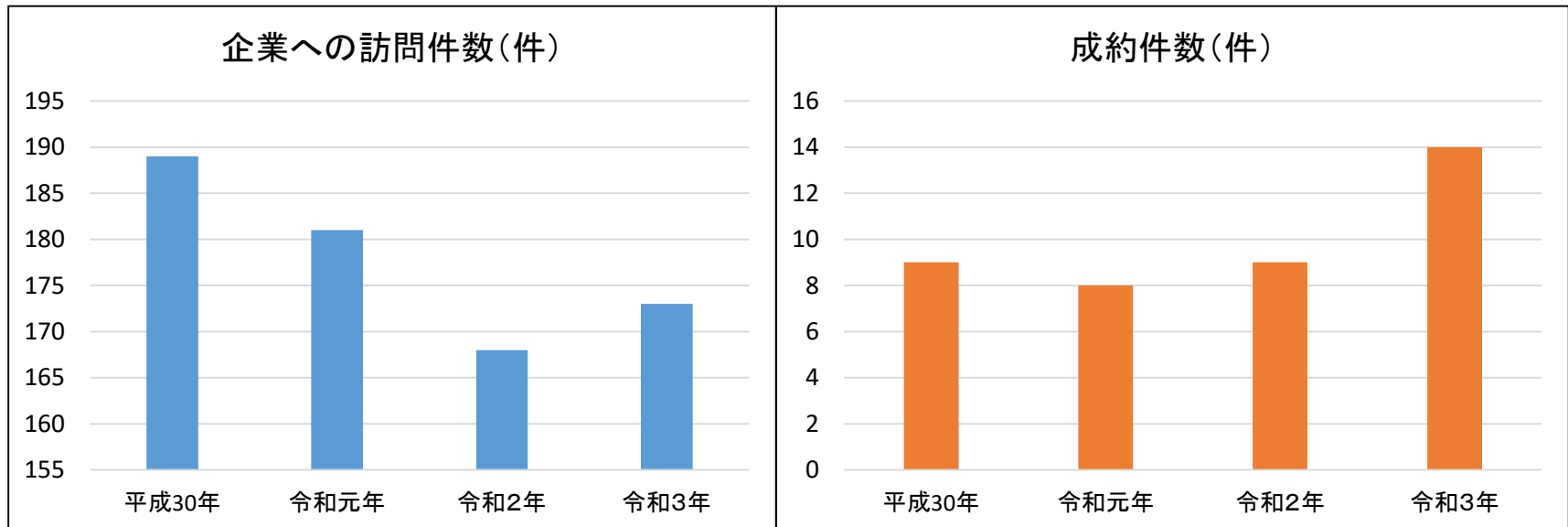
戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ ものづくり工場立地助成金 ～

- 区内で操業を希望する企業が、事業規模の拡大・事業の高度化のために行う工場の新增設や区内及び区外からの移転に係る経費を一部助成することにより、大田区ものづくり集積の維持・強化を図る(省エネ設備等の付帯設備の更新にも利用可)。
- 過去4年間の実績は以下のとおり。多くの大田区ものづくり企業に助成しており、大田区のものづくり集積の維持・発展につながっている。



戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ 企業立地促進サポート ～

- 大田区の産業集積を維持・発展させていくため、以下の3つの柱により事業を展開している。
 - (1) 区内企業の留置対策としての「持続的操業支援」
 - (2) 区外企業から波及効果の高い「企業誘致」
 - (3) 受け皿となる「不動産情報収集」
- 企業が抱える立地上の課題等を把握し個別相談・個別訪問を行う。
- 立地相談にあわせて適合する助成金相談も受けており、地域経済牽引事業の紹介も行っている。



※「成約件数」…留置件数と企業誘致件数の合計

戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ 大田区事業承継エコシステムの形成 ～

➤ 事業承継の切れ目のない支援 4つの柱

1 掘り起こし

事業承継の必要性に気づきを与える。 ★PUSH型セミナーの開催、啓発

2 窓口の一本化(ワンストップ)

相談個所を明確にする。 ★PiOフロントに窓口を集約、適切な機関を案内

3 具体的支援

PiOを中心に切れ目のない支援を行う。 ★各団体が実施する助成金や伴走支援

4 支援機関との連携

さらなる掘り起こし・支援のために連携をする。 ★PiO内機関、金融機関等との情報共有、連携強化

定期的な協議会を開催し、情報交換や区内事業者への説明会・イベントなどを行い、連携強化を図っている

事業承継連絡協議会

(メンバー)

大田区産業経済部、大田区産業振興協会、大田工業連合会、大田区商店街連合会、東京商工会議所大田支部

(オブザーバー)

東京都中小企業振興公社



戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ OTAデジタル×PiO ～

- 大田区企業はもちろん、日本全国、そして世界の企業が交流するビジネスコミュニティ
- デジタル化に向けた機運醸成を図るとともに、各社のデジタル化の進捗状況等の段階に応じた、きめ細かなサポートを実施。大田区中小企業の「稼ぐ力」を一層高めるためのデジタル化を個社の事情を踏まえながら最適対応している。

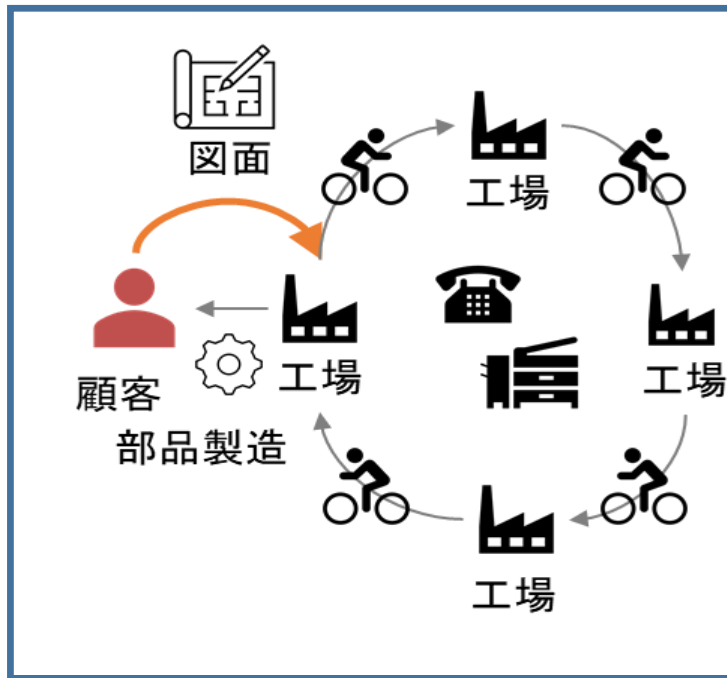


「OTA デジタル×PiO」でできること

- ・出会い、つながり、交流することによる課題解決
- ・テーマを設定したディスカッションルームの立ち上げ
- ・大田区産業振興協会、大田区等支援機関からの情報発信
- ・PiO PARK等で実施するイベントの申し込み
- ・コミュニティメンバー間のダイレクトメッセージ
- ・大田区への相談 など

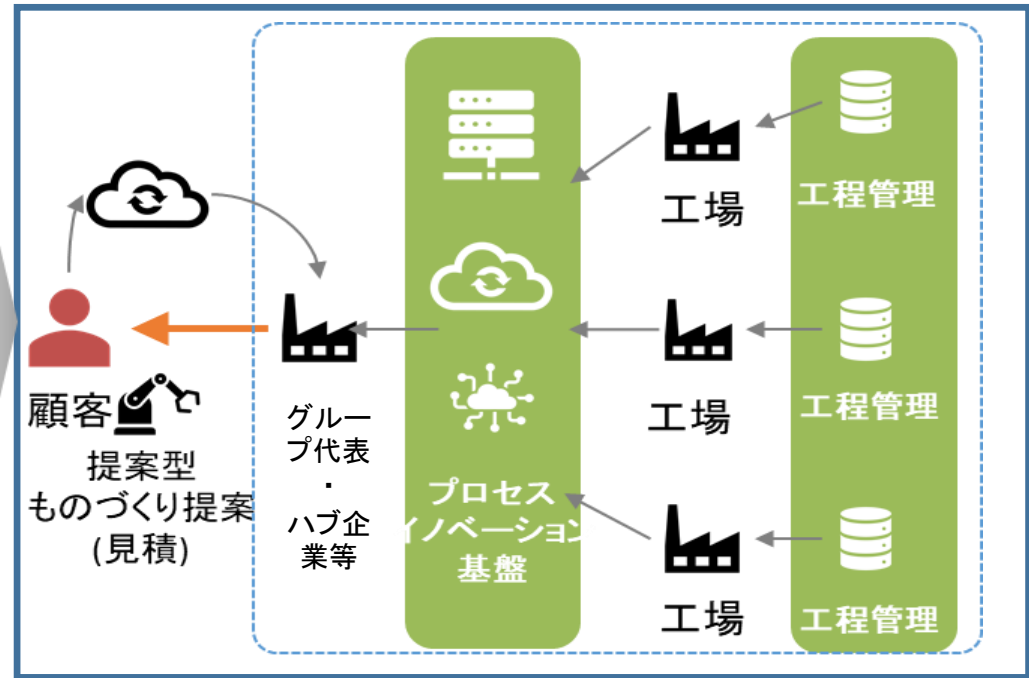
戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ デジタル受発注プラットフォームの構築 ～

- 既存の受発注の仕組みは、大田区中小製造業がもつ強みを活かした付加価値の高いものづくりには馴染まないことから、中小企業の稼ぐ力を活かすためのデジタル技術を活用した新たな仕組みの構築を目指す。
- 世界的な経済動向は不透明な状況が続くが、経済安保の観点によるサプライチェーン再構築やアジア地域の賃金の高騰により、大手企業の国内回帰の流れもあり、絶好の好機といえる。



これまでの仲間まわし

- ・図面に基づく部品加工を受託
- ・所定の仲間企業と連携



デジタルによる新しい仲間まわし

- ・構想・アイデア段階から提案性の高い高付加価値な仕事を受託
- ・従来の仲間のみならずデジタルで繋がった多様な町工場と連携

2022年度、大田区にて事業展開後、全国の産業集積地へと展開し、全国の中小企業が連携し、将来的には海外からの発注を受け付ける一大プラットフォームへと拡充

戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ デジタル受発注プラットフォームの構築 ～

- 冬のDigi田甲子園に応募。応募総数172件の中から、最終選考46件に選ばれました。
- 現在、最終選考であるインターネット投票中(投票期間:1月24日～2月24日)。



デジタルの力で暮らしを豊かに
冬のDigi田甲子園 投票受付中!

▼応募総数172件の中から、46件の取組がインターネット投票に選ばれました。

インターネット投票対象事例

▼各取組の概要や紹介動画をご覧ください、最も優れていると思うものを1つ選んで投票して下さい。投票期間は、1月24日～2月24日となります。また、投票は一人(一つのメールアドレス)につき一票です。

投票はこちらから

冬のDigi田甲子園

デジタル田園都市国家構想を全国津々浦々で力強く進めていくため、幅広く民間企業や団体など様々な主体の取組を募集し、特に優れたものを内閣総理大臣賞として表彰する

最終選考に残った事例を
確認できます

こちらから投票

目指すは
「内閣総理大臣賞」
受賞

戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ 産業のまちネットワーク推進協議会 ～

- 「産業のまち」といわれる中小企業(製造業)が集積する20の自治体で構成されている。
- 産業政策担当者の交流により各自治体の産業政策上の課題解決を促し、企業や研究者との連携、地域間企業ネットワークの推進を図り、地域経済の発展に寄与することを目的として平成8年に設立された。
- **事務局:大田区、品川区、川崎区** ※大田区は会長を務めている。
- 総会、定例会(年2回)

★加盟都市一覧

米沢市(山形県)	さいたま市(埼玉県)	柏崎市(新潟県)	諏訪市(長野県)	岡谷市(長野県)
坂城町(長野県)	伊那市(長野県)	飯田市(長野県)	いわき市(福島県)	桐生市(群馬県)
太田市(群馬県)	茅野市(長野県)	板橋区(東京都)	八王子市(東京都)	相模原市(神奈川県)
富士市(静岡県)	寒川町(神奈川県)	品川区(東京都)	川崎市(神奈川県)	大田区(東京都)

事務局

★実績(自治体間連携事例)

日付	自治体名	内容
H26.11.25	大田区、桐生市	大田工連と桐生機械工業連合会が「事業継続計画(BCP)強化に向けた相互応援協定」締結
H30.2.16	川崎市、相模原市(横浜市等非加盟自治体も参加)	「川崎市ドローン活用研究会」実施
H30.3.6	大田区、桐生市	「災害時における相互応援に関する協定」締結
H30.7.10	大田区、岡谷市	「災害時における相互応援に関する協定」締結
随時	大田区、米沢市	大森工場協会と米沢市の工業会、相互交流実施
R4.9.5	大田区、川崎市、品川区	NEDOピッチ(SDGs関連企業のピッチ)

戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ 創業支援施設 六郷BASE ～

- 2021年10月にオープンした大田区の創業支援施設
- 新ビジネスに挑戦する起業家、起業希望者、中小企業の方を対象に、ワークスペース、起業・経営のノウハウ、ビジネスマッチングの機会を提供している。
- オフィス 7社 / シェアードオフィス 7社 / コワーキングスペース 13社 合計27社(者)が入居中

※2022年8月31日時点

六郷BASE

オフィス



3F

coworking space



2F

シェアードオフィス



オープンスペース



セミナールーム



試作室



1F

各種支援

インキュベーション マネージャー



展示会出展



ものづくりサポート (試作室)



各種イベント



上記以外にも様々な支援メニューを用意し、起業家をサポート

戦略① 機械・金属加工関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野 ～ 創業支援施設 六郷BASE ～

※写真はホームページから抜粋

★入居企業例

fabula 株式会社



2021年10月に起業した東京大学発ベンチャー。「100%食品廃棄物から作る新素材(特許技術)」をコアの技術として、ゴミに新たな価値を吹き込む。捨てられる野菜などから「食べられるセメント」の開発に成功。建材に活用できるほどの強度があり、新素材として注目を集めている。

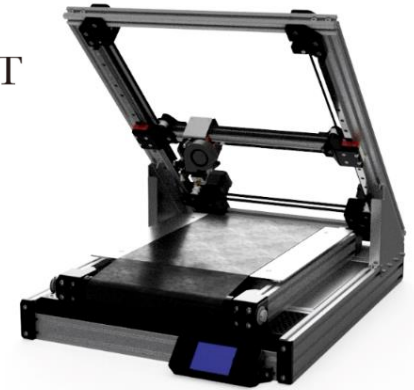
令和工藝合同会社



シンプルコミュニケーションロボット
「KEEPON」

「アートとロボティクスの力で 誰も見たことのない世界をつくる。」
アートとロボットに関わる企画、制作、運用、コンサルティング。STEAM教育・アート思考プログラムの開発と実践。

合同会社BirthT



日本初ベルトコンベア式3Dプリンター
「Leee」

3Dプリンタ開発、ソフトウェア開発。
日本初のベルトコンベア式3Dプリンター「Leee」を販売。人の手を介在せずに複数のモデルの連続造形が可能であり、長物のモデルの造形が可能。

入居企業と区内企業との連携

大田区や大田区産業振興協会主催の展示会への出展などにより、区内企業との連携が生まれ、具体的な取引が始まった事例もある。今後は区内産業施設の入居企業や島部などの工業団体などと連携することで、新たな取引機会の創出を図る。

戦略② 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野 ～ 羽田イノベーションシティ ～

- 国内外のヒト・モノ・情報を集積させ、国内外のプレイヤーが互いに交流し、新たなビジネスやイノベーションを創造するとともに、国内外に日本のものづくり技術や日本各地域の魅力を発信する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指す。
- 2020年7月オープン、2023年グランドオープン
- 2022年3月「多摩川スカイブリッジ」が開通し、川崎市殿町地区「キングスカイフロント」との連携強化

HANEDA INNOVATION CITY



戦略② 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野 ～ HANEDA×PiO (ハネダピオ) ～

- 大田区内企業をはじめ、国内外大手企業・中堅企業、大学・研究機関、団体、起業家・スタートアップ企業など、多くの人々が集結する拠点
- 社会課題の解決や新事業創出に意欲のある企業が入居するテナントゾーンと、交流からイノベーションを創出するPiO PARK(交流空間ゾーン)がある。

1 事務・共用ゾーン

- ・多様な人・組織との交流支援、新たな事業の創出支援、実証実験の支援等の提供

2 テナントゾーン

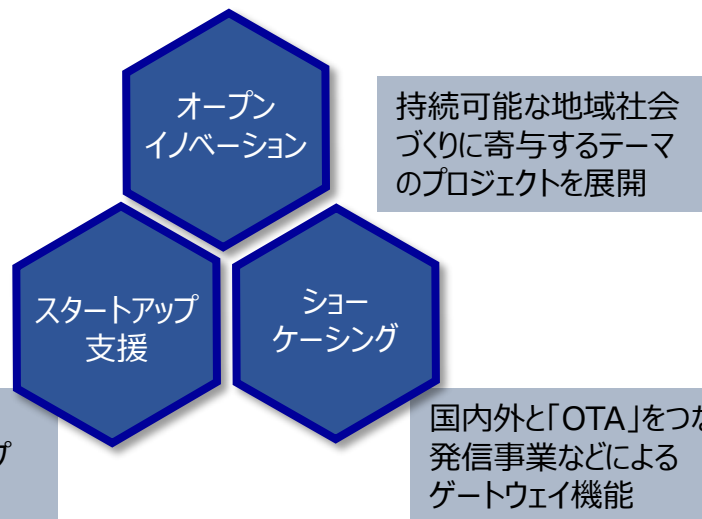
- ・区内企業に新たな取引機会をもたらす企業
- ・海外との取引拡充に注力したい区内企業等
- ・区内・区外・海外の9事業者
17区画中16区画入居済み
(令和4年12月末時点)



3 交流空間ゾーン

PiO PARK (ピオ パーク)

- ・多様な主体が交流し、イノベーションを創出する約1,000㎡の共創空間
- ・機材充実のイベントスペース、登記可能なコワーキングスペース
- ・イベント実績 (令和3年度)
イベント件数：66件
来場者総数：2,293人



戦略② 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野 ～ 羽田イノベーションシティでのイベント事例～

※写真はホームページから抜粋



大田区産業振興協会
「超専門ミニ展示会」



大田区産業振興協会
「おおた研究・開発フェア」



さわやか信用金庫
「第11回さわやか信用金庫物産展」



きらぼし銀行「きらぼしピッチ」



城南信用金庫「よい仕事おこしフェア」

会期	企画展示名
R3.10-R4.1	パラスポーツを支えた大田区の技
R4.1	Tokyo技能五輪・アビリンピック2021 ギャラリー
R4.2~3	OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～
R4.4~5	OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～
R4.4~6	東京都中小企業振興公社支援企業 の製品展示
R4.7~8	きらぼしイチ押し！”きらりと光る”大田 区内企業の製品！！
R4.9~11	宇宙産業で活躍する大田区企業等の 技術

年度	イベント数	総来場者数
R3	66件	2,293人
R4 ※R5年1月現在	166件	17,163人

行政・支援機関・金融機関・民間企業など多くの団体が様々なイベントを開催し、
交流機会・取引機会・イノベーション等の創出のきっかけとなっている

戦略② 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野 ～ PiO PARKアンバサダー事業（令和4年度10月スタート）～

- 目的: PiO PARKの更なる認知拡大、利用者同士の交流の促進、ひいては大田区の地域産業活性化
- PiOPARKアンバサダーを中心に、SNS等での情報発信による認知拡大、イベント等の開催を通じて多様な主体を集め、つなげることでネットワーク構築やファン層の獲得を目指す。



※写真はホームページから抜粋

今年度は、PiO PARKアンバサダーが企画したイベントを中心に
PiO PARKの魅力発信と産業交流のさらなる活性化を通じて
コミュニティ形成に取り組んでいる

戦略② 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用した成長ものづくり分野 ～ デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援事業 ～

- 令和3年度、人材やノウハウの不足で解決できない企業や地域課題をプロジェクト化して、地域活性化への情熱や専門性を有する副業者を活用するためのモデル事業をスタート
- 「大田区SDGs副業」として国内外から延べ450名のエントリーがあり、商店街・町工場をフィールドとして、6名の副業人材を活用したプロジェクトを推進した。
- 令和4年度は、副業人材と地域企業をマッチングするしくみを強化し、より広範囲な地域・より多くの企業に波及効果のあるプロジェクト展開を図る。

令和3年度

地域企業×副業者 地域課題解決モデル事業の立ち上げ



「大田区SDGs副業」
国内外から延べ450名の
エントリー

9 令和3年度
商店街に稼ぐ力を！大田区内商店街の未活用資産を
活用してPR/広告事業を立ち上げるプロジェクト【大
田区SDGs副業】



9 令和3年度
「ものづくりのまち」大田区町工場の連携で、取引先証
大の仕組みをデザインするプロジェクト【大田区
SDGs副業】



商店街プロジェクト、
町工場プロジェクトを立ち上げ
6名の副業人材をマッチング

令和4年度

- ① 地域企業×副業者
マッチングのしくみ強化
- ② プロジェクト・ノウハウの横展開



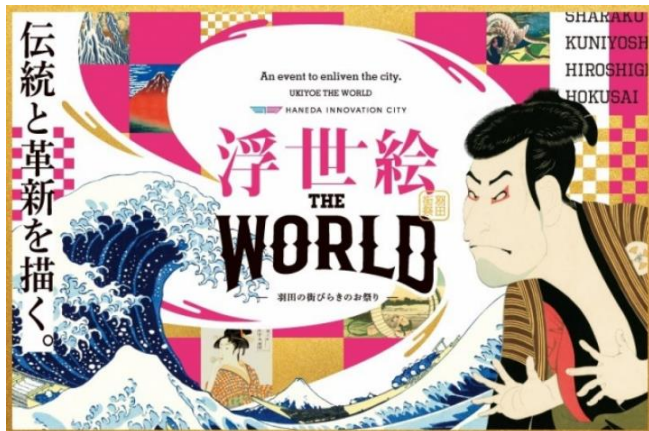
※写真はホームページから抜粋

町工場や商店街、羽田イノベーションシティ等を中心に取組んでいる

戦略③ 東京国際空港及びその周辺跡地のインフラを活用したクールジャパン発信機能関連産業（文化産業事業）分野

- 羽田イノベーションシティには、日本の文化をデジタル体験できる商業施設「羽田出島」、ライブホール「Zepp Haneda(TOKYO)」、無料で利用可能な足湯施設「足湯 デッキ」など、様々な日本の文化を発信・体験できる施設がある。また、2023年には日本の芸術文化の発信・創造に向けた拠点「アート&テクノロジーセンター」が開業予定。
- 東京国際空港(羽田空港)及び羽田イノベーションシティでは、様々なクールジャパン発信イベントを開催しており、今後ますます国内外からの来客が期待されている。

※写真はホームページから抜粋



3つの「PiO」によるリアルとデジタル両方での支援

- 大田区には「大田区産業プラザPiO」、「HANEDA×PiO」、そして「OTAデジタル×PiO」があり、この「3つのPiO」により、リアルとデジタル両方で産業支援・イノベーション創出を活性化していく。

